



©2005 石塚真一/小学館

第 180 号(令和2年3月2日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ  
特別隊員

# 島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

## 長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

2月第4週は7件の遭難が発生しました。7件中4件は八ヶ岳連峰で発生し、今シーズン、既に八ヶ岳では9件の遭難が発生しています。アイスクライミング中の転落が3件、登山中の転倒・滑落が3件発生し、週末には単独の女性登山者が死亡となっています。

冬季の八ヶ岳は強風と寒冷な環境で知られていますが、特に日本付近を低気圧が通過し、冬型の気圧配置となった場合は、晴れていても稜線付近は強烈な風が吹き荒れます。このような条件の中で行動すると、低体温症による行動不能や視界不良による道迷いの危険性が非常に高くなります。また、稜線に限らず、樹林帯の中の登山道も至る所が凍結しているため、常に転倒、滑落の危険性があります。

これから登山を予定されている方は、冬の八ヶ岳登山の危険性をしっかりと認識して、慎重な判断と行動をお願いします。

## 先週までの発生

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
2月17日	八ヶ岳連峰 北沢	47	女	転倒	負傷	仲間と2人で登山中、足を滑らせ、転倒、負傷
八ヶ岳連峰赤岳において、女性47歳が滑落して行動不能となる山岳遭難が発生し、茅野警察署山岳遭難救助隊、諏訪地区山岳遭難防止対策協会救助隊、諏訪広域消防本部救助隊が救助しました。						
2月19日	毛無山	34	女	道迷い	無事救出	仲間と2人でバックカントリー滑走中、道に迷い行動不能
		35	女			
毛無山において、女性34歳と女性35歳が、スキー場のコース外を滑走中、道に迷い行動不能となる山岳遭難が発生し、県警へりで救助しました。						



2月20日	北アルプス 八方尾根	29	男	転倒	負傷	仲間と7人でバックカントリー滑走中、転倒、負傷
北アルプス八方尾根において、男性 29 歳がスキー場外をスキーで滑走中に転倒して負傷する山岳遭難が発生し、大町警察署山岳遭難救助隊が救助しました。						
2月22日	ハケ岳連峰 阿弥陀岳	59	男	転落	負傷	仲間と2人でアイスクライミング中、バランスを崩し、転落、負傷
ハケ岳連峰阿弥陀岳において、男性 59 歳がアイスクライミング中に滑落して負傷する山岳遭難が発生し、茅野警察署山岳遭難救助隊、諏訪地区山岳遭難防止対策協会救助隊が救助しました。						
2月22日	北アルプス 柵池高原	46	男	その他	無事救出	夫婦でバックカントリー滑走中、沢へ転落し、行動不能
		36	女			
北安曇郡小谷村において、男性 46 歳及び女性 36 歳がバックカントリーをスキー等で滑走中、滑落して行動不能となる山岳遭難が発生し、大町警察署山岳遭難救助隊、北アルプス北部地区山岳遭難防止対策協会小谷班救助隊が救助しました。						
2月24日	ハケ岳連峰 天狗岳	53	女	不明	死亡	単独で唐沢鉱泉から天狗岳へ向けて入山して、行方不明
ハケ岳連峰天狗岳において、女性 53 歳の行方がわからなくなり、茅野警察署山岳遭難救助隊、県警へリで捜索して、25 日、発見し県警へリで収容しました。						
2月24日	ハケ岳連峰 赤岳	28	女	発病	無事救出	宿泊中の山小屋で、体調不良により、行動不能
ハケ岳連峰赤岳において、女性 28 歳が山小屋に宿泊中体調不良を訴え行動不能となる山岳遭難が発生し、県警へリで救助しました。						

令和2年中の山岳遭難発生状況(令和2年1月1日～2月24日)

区分	発生 件数	死者	行方 不明	負傷者	無事 救出	遭難者 計	内) 死傷者
令和2年	23	2		11	13	26	13
平成31(令和元)年	30	5		11	21	37	16
前年同期比	-7	-3	±0	±0	-8	-11	-3
内)BC	+1	-1	±0	+4	-5	-2	+3
内)山菜キノコ採り	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0

### 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高		0.0%				0	
	後立山	6	26.1%			4	4	8
	その他	3	13.0%	1			2	3
	計	9	39.1%	1	0	4	6	11
中央アルプス		0.0%					0	
南アルプス		0.0%					0	
八ヶ岳連峰	9	39.1%	1		6	2	9	
その他の山岳	5	21.7%			1	5	6	
計	23		2	0	11	13	26	

### 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	5	21.7%			5		5
転倒	5	21.7%			5		5
病気	1	4.3%				1	1
道迷い	7	30.4%				9	9
落石		0.0%					0
雪崩	2	8.7%	1		1		2
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷	1	4.3%				1	1
不明・他	2	8.7%	1			2	3
計	23		2		11	13	26

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計		
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率	
19 以下					0	5 26.3%					0	3 42.9%	0	8 人 30.8%	
20 代			1	3	4					1	1				5
30 代			1		1						2		2		3
40 代	1		2	1	4	11 57.9%			1	1	2	3 42.9%	6	14 人 53.8%	
50 代			3	4	7		1				1				8
60 代			1	1	2	3 15.8%			1		1	1 14.3%	3	4 人 15.4%	
70 以上			1		1						0				1
計	1	0	9	9	19		1		2	4	7		26		
比率	73.1%						26.9%								

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

\* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝